

## Blackboard

### 1. 概要

Blackboard は Web ブラウザを利用したオンライン授業支援システムで、既に導入済みだった授業支援システム CHORUS (2017 年度終了) と平行して 2012 年に導入された。

年 2 回 (春夏) のアップグレード・累積パッチ適用を継続して実施しており、2020 年度は夏季に累積パッチの適用、春季にアップグレードを実施した。動作確認が完了済みのバージョンを導入しているため、最新版の 1 つ前のバージョンが適用されている。

### 2. 利用状況

アシストマイクロ社が取得したデータ「利用集計」をもとに 2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までのデータを集計した。

オンライン授業の開始に伴い、2019 年度から利用者数が専任教員で 10.7%増加、兼任教員で 33.0%増加し、全体としては 27.8%と大きく増加した。利用率も全体で 89.2%とほとんどの教員が利用した結果となった。

なお、2019 年度まで集計していた機能別の問合せデータは、受付方法が変更になったことに伴い集計が不可能になったため掲載を取りやめた。

Blackboard		登録者 (人)	利用者 (人)	利用率	全登録 者(人)	全利用 者(人)	利用率
2019 通年	専任	603	527	87.4%	2,532	1,555	61.4%
	兼任	1,929	1,028	53.3%			
2020 通年	専任	632	620	98.1%	2,500	2,231	89.2%
	兼任	1,868	1,611	86.2%			
年間増加率	専任	+29	+93	+10.7%	-32	+676	+27.8%
	兼任	-61	+583	+33.0%			

表 1 : 利用状況前年度比較

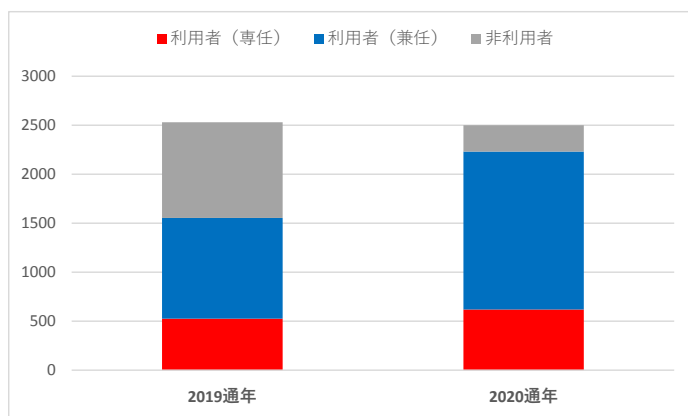


図 1 : 利用状況前年度比較

### 3. 学部別利用状況

10 学部で比較的低い利用率の低い理学部や経営学部でも前年比で 15%以上は増加した。

今後「類似性判定課題 (Turnitin)」利用案内の展開などで、利用率の低い学部の数字も上がっていくことが考えられる。

2020 年度より、ランゲージセンターは新設された外国語教育研究センターに変更されていることから、両者の利用者数に大きな変動があった。

項番	種別	所属名	2019年度			2020年度		
			登録教員数 (人)	利用教員数 (人)	利用率(%)	登録教員数 (人)	利用教員数 (人)	利用率(%)
1	学部	文学部	346	219	63.29%	355	323	90.99%
2		経済学部	139	103	74.10%	134	127	94.78%
3		理学部	207	116	56.04%	205	154	75.12%
4		社会学部	181	137	75.69%	180	165	91.67%
5		法学部	112	78	69.64%	124	119	95.97%
6		観光学部	111	66	59.46%	121	104	85.95%
7		コミュニティ福祉学部	144	87	60.42%	155	149	96.13%
8		経営学部	117	70	59.83%	125	95	76.00%
9		現代心理学部	132	77	58.33%	132	115	87.12%
10		異文化コミュニケーション学部	84	67	79.76%	93	90	96.77%
11	研究科	文学研究科	3	1	33.33%	3	2	66.67%
12		経済学研究科	5	4	80.00%	6	6	100.00%
13		理学研究科	1	0	0.00%	0	0	0.00%
14		社会学研究科	0	0	0.00%	0	0	0.00%
15		法学研究科	0	0	0.00%	0	0	0.00%
16		観光学研究科	0	0	0.00%	0	0	0.00%
17		コミュニティ福祉学研究科	0	0	0.00%	0	0	0.00%
18		ビジネスデザイン研究科	48	37	77.08%	50	46	92.00%
19		21世紀社会デザイン研究科	37	17	45.95%	35	26	74.29%
20		人工知能化学研究科	0	4	0.00%	12	12	100.00%
21		異文化コミュニケーション研究科	7	3	42.86%	5	5	100.00%
22		経営学研究科	0	0	0.00%	4	2	50.00%
23		現代心理学研究科	0	0	0.00%	0	0	0.00%
24		キリスト教学研究科	9	2	22.22%	11	7	63.64%
25		法務研究科	40	22	55.00%	25	15	60.00%
26	その他	全学共通カリキュラム	554	299	53.97%	461	431	93.49%
27		学校・社会教育講座	86	46	53.49%	86	77	89.53%
28		社会情報教育研究センター	6	5	83.33%	6	6	100.00%
29		グローバル教育センター	14	6	42.86%	13	7	53.85%
30		英語ディスカッション教育センター	46	10	21.74%	1	1	100.00%
31		ランゲージセンター	43	39	90.70%	0	0	0.00%
32		日本語教育センター	13	12	92.31%	14	14	100.00%
33		大学チャレン室	2	0	0.00%	2	2	100.00%
34		立教セカンドステージ大学	18	3	16.67%	16	7	43.75%
35		グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター	15	12	80.00%	21	19	90.48%
36		立教サービスマーケティングセンター	2	2	100.00%	2	2	100.00%
37		立教学院史資料センター	2	0	0.00%	2	2	100.00%
38		外国語教育研究センター設置準備室	6	6	100.00%	0	0	0.00%
39		外国語教育研究センター	0	4	0.00%	101	101	100.00%
40		大学教育開発・支援センター	0	0	0.00%	0	0	0.00%
41		不明	2	1	50.00%	0	0	0.00%
		合計	2532	1555	61.41%	2500	2231	89.24%

表 2：学部別利用者数・問合せ件数

※2019年度の項番 20、39 は、「登録教員数 0、利用教員数 4」となっている。これは、対象研究科/部署が 2020 年度新設のため 2019 年度に担当授業がなかったが、Blackboard へのアクセスは 2019 年度に行われているためである。

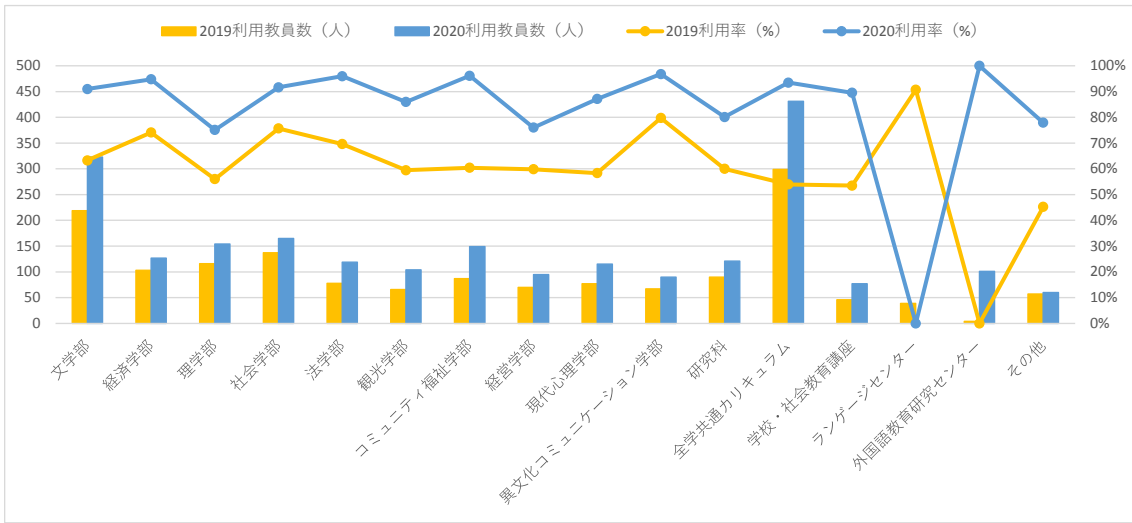


図2：学部別利用教員数・利用率

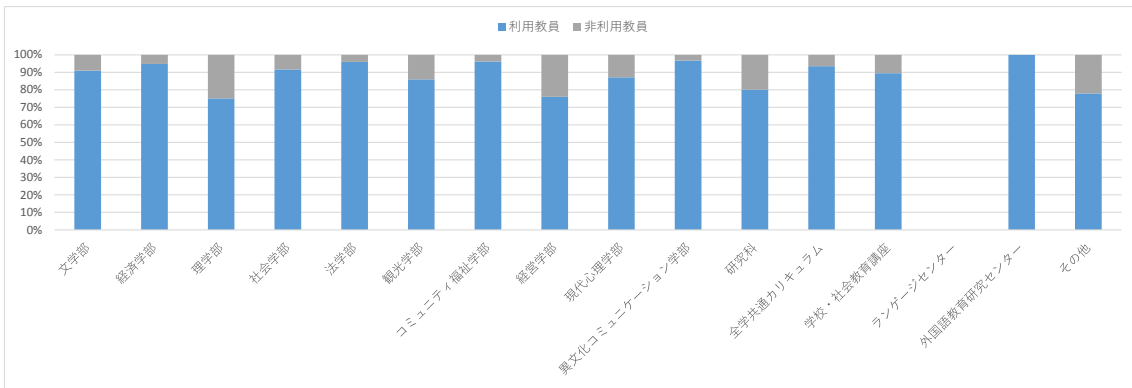


図3：学部別利用者割合

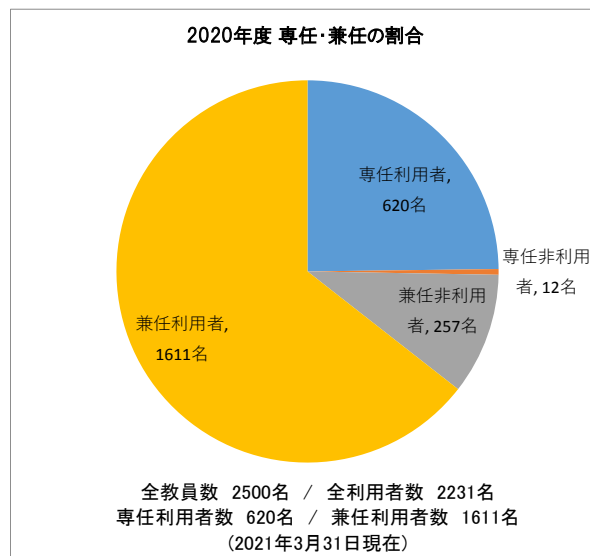


図4：専任・兼任利用者割合

4. Blackboard 問合せ方法（※教員以外からの問合せも含む）

2019 年度と比較し、メールが 392 件増加の 556 件、問合せフォーム（従来のフォームから Google フォームを利用したものに変更）が 692 件増加の 937 件となった。

春学期に電話回線を制限して Google Meet での受付を行ったことにより電話の件数が、大学内への入構制限のために対面の件数がそれぞれ大幅に減少したが、それでも全体では 1.5 倍以上に増加した。

新規追加された「その他」は Google Meet、他部署からの転送、PC ヘルプデスクが主となっている。

	2019 年度	2020 年度
電話	600	327
メール	164	556
対面	224	22
問合せフォーム	245	937
その他	0	66
合計	1233	1908

表 3：問合せ手段別受付件数

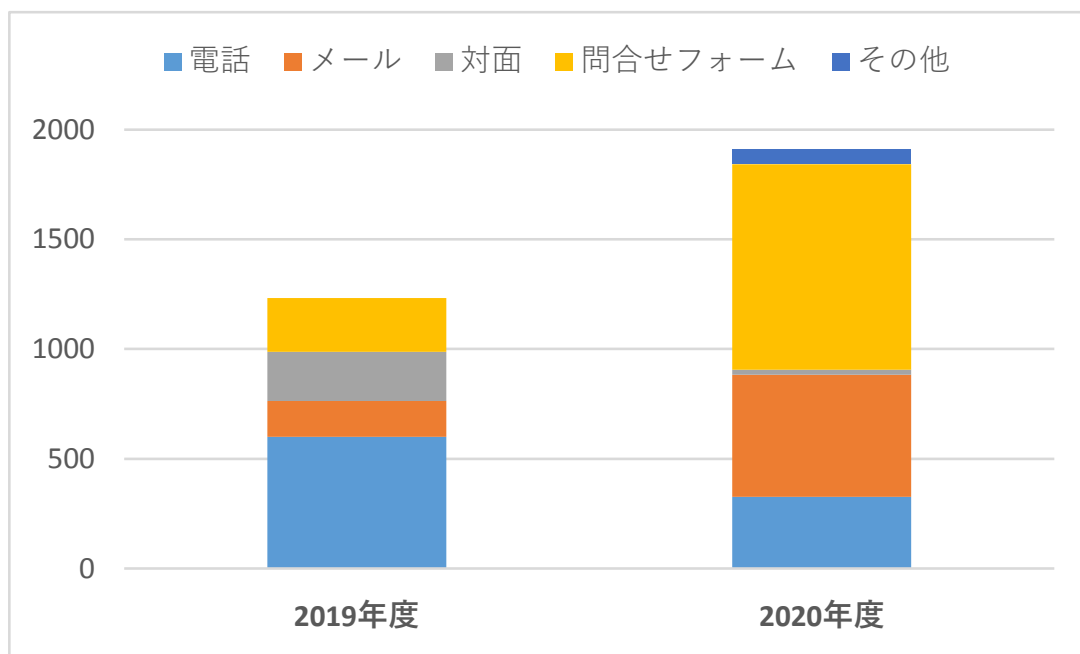


図 5：問合せ手段別受付件数

## 5. トピックス

- (1). Q2 2019 累積パッチ適用メンテナンス  
→ 作業時間：8/11（火）～ 8/13（木）
- (2). Q4 2019 適用メンテナンス  
→ 作業時間：3/15（月）～ 3/16（火）
- (3). 前年度末に加えて更にサーバのスペックアップを実施

## 6. 2020 年度のまとめ

オンライン授業開始のため利用者数、問合せ数ともに大幅増加しログイン回数も2019年度の3倍近い数字を記録した（220万回→640万回）。

事前準備の効果かアクセス集中による負荷が原因の大きなトラブルは発生せず、システムによる影響範囲の小さい障害（機能単体が利用不可など）が発生したが、早い段階で改善されている。

2021年度も引き続きオンライン授業が継続されることが考えられるため、2020年度の経験を元に、マニュアルやサポート体制を整えていく。